



令和7年2月28日 近江八幡市立沖島幼稚園

雪も解け、暖かい日差しを感じるようになりました。5歳児は、卒園して小学校に、3歳児は4歳児と進級するうれしさを全身で表現しています。

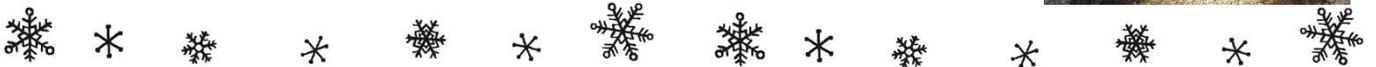
今年度も残すところ後1ヶ月。卒園式まで〇日とカウントダウンをしています。今年度を振り返りながら、楽しい園生活をすごしていきたいと思います。



「あしたはさむくなるかな？」と寒い日にはプリンカップなどの空き容器に水を入れて園庭に置いて帰り、氷ができるのを楽しみにしていました。そして、毎朝、氷ができているか確認して、「せんせい！こおりができてる！」と大喜び。「なんで、氷ができたんやろう？」と聞いてみると、5歳児さんは「そんなけ、寒かったんやわ。」と答えました。それを聞いた3歳児さんも「さむいから。」



次の日に「お花も入れてみよう！」という5歳児さんの提案に「うん！」わくわくする3歳児さんでした。



ふるさと学習発表会にむけて～ありがとうのき～



ゆびあみマフラーやぼんぽんなど毛糸遊びで作ったものを壁面の雪だるまに「さむくないかな。」とやさしくつけてくれた子どもたちは、絵本“ありがとうのき”を読むと「雪だるまにつけたのといっしょみたい。」「木を作ろう。」というアイデアができました。ちょうどその頃に、「表現あそびは何をする？」という話をする、「ありがとうのき」がしたい！となりました。“ありがとうのき”で表現遊びをする流れ(ストーリー)やでてくる動物、大道具など、何がいるのか、色は何か…などみんなで考え、話し合っって作ることにしました。



子どもたちは、大勢の人の前での発表に緊張していましたが、終わってみると“できた”“楽しかった”“もっとやりたかった”と大満足！この達成感が自信となり、またひと回り大きく成長しました。これからも子どもたちの“やってみたい”という思いを大切に、生き生きと遊ぶ姿につなげていきたいと思います。